

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年7月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市信楽町勅旨2408

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
近江化学陶器株式会社
代表取締役 瀬戸 明弘

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	近江化学陶器株式会社 代表取締役 瀬戸 明弘
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市信楽町勅旨2408

1 事業所の概要

事業所の名称	近江化学陶器株式会社								
事業所の所在地	滋賀県甲賀市信楽町勅旨2408								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	1	4	6	※ 産業分類・細分類名称を記載 陶磁器製タイル製造業			
事業の概要	外装タイル								
従業員の数	37人			作業時間		8 (8:30~17:30) 時間/日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	1	台	照明設備	746	台
	コンプレッサ	5	台	空気調和設備	12	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	R1	年度	報告対象年度	R5	年度
	終了 年度	R5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

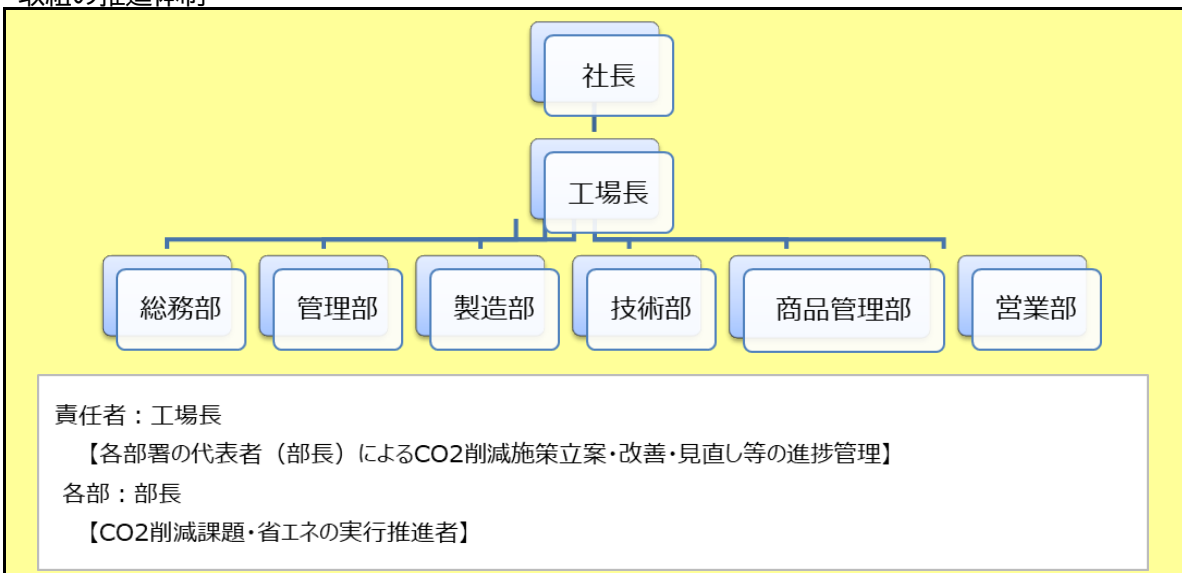
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

ト変更計画・報告)書

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当社は企業活動を通じて地域社会の発展に貢献すると同時に現在大変重要になってきている地球温暖化抑制の為の低炭素社会創生に対して、使用エネルギーの低減・廃棄物の再利用等をもって対処していきます。又、この事は全従業員共通の認識事項とします。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・熱効率を上げる為の、エネルギーの完全ガス化の実施(軽油廃止→LPG燃料転換)
- ・エアーコンプレッサーの電力量に対して、エアー漏れの徹底チェックによる低減の実施、各部署によってはベビーコンプレッサーの導入
- ・省エネ管理標準の運用
- ・各部署に対しての節電運動の実施
- ・LED照明への置換えを開始
- ・軽油リフトの廃止、電気リフトの導入をすべて行う。
- ・エアー漏れ対策を完了させる。

(第2面)

変更計画・報告書

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	冷暖房の温度設定、運用時間などの管理システムの設定	R1年～R5年	取組継続中
2	運用改善	各部署に必要時間以外の照明の消灯を指示	R1年～R5年	取組継続中
3	運用改善	焼成炉については、操車台車の変更に対してバーナー調整	R1年～R5年	取組継続中
4	運用改善	焼成炉の各バーナーのエア－ガス比の見直し	R1年～R5年	取組継続中
5	設備導入	蛍光灯をLED照明器具へ切替え(50灯分)	R1年～R2年	切替え完了
6	設備導入	電気フォークリフトへ切替え	R2年～R4年	切替え完了
7	運用改善	灯油使用箇所の見直しと削減	R2年～R3年	完了
8	設備導入	インバーターコンプレッサーへの代替	R4年～R5年	計画中止
9	運用改善	エア－漏れ率測定とエア漏れ対策、改善	R4年～R5年	取組完了

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
原単位目標 $\frac{\text{温室効果ガス排出量}}{\text{生産原料使用量}} = \text{R2年～R5年で3\%以上の削減}$		原単位目標は BM、対前年とも悪化

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R1)年度	(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,513	1,506	1,311	1,356	1,284	1,275
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,214	3,044	2,616	2,751	2,520	2,566
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,214	3,044	2,616	2,751	2,520	2,566
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						

SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.393	0.365	0.429	0.420	0.419	0.743

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

変更計画・報告書

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

変更計画・報告書

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台						
上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃棄物(不良タイル、汚泥)などの路盤材リサイクルを推進。 不要廃プラ分別により有価リサイクル材への活用拡大を 推進。	R1～R5年	取組継続中
2	その他	不良改善、設備の稼働ロス削減を含めたロス削減活動を 平行して進め、省エネ効果に繋げる。	R2～R5年	取組継続中
3	その他	各工場のエアー漏率を調査し、エアー漏れ対策を計画的 に進め漏れ率20%を目指し推進する。	R4～R5年	取組完了
4				
5				